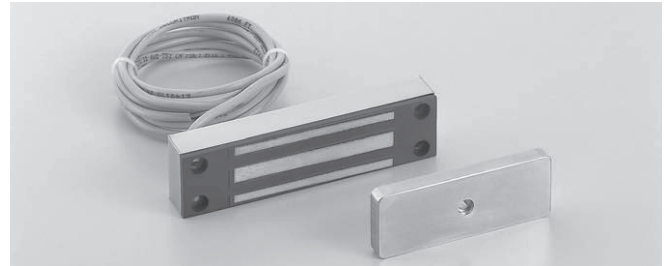


■ 概要 .....	P.1
■ 仕様 .....	P.1
■ 部品構成 .....	P.1
■ 必要工具 .....	P.2
■ 取付場所の条件 .....	P.2
■ 取付方法 .....	P.3
■ 結線 .....	P.6



### 概要

小型マグナロックMCL24は、キャビネット開き戸、引戸、引き出し用に作られた製品です。  
人が出入りする場所では使用しないでください。

### 仕様

吸着力	756N ±10% (77kgf ±10%)
寸法	部品一覧参照
電圧	DC24V
電流	84mA
消費電力	2.0W

### 部品一覧

	名称	寸法	数量
①	本体 	116.8 × 29 × 19.3	1
②	ブラケット 	114.3 × 36.8 × 19.1	1
③	ストライクプレート 	78.7 × 27.9 × 8	1
④	六角穴付ボルト 	No.8-32 UNC × 12.7	1
⑤	パッキン 	φ 12.7 × 2.3	2
⑥	スプリングピン 	φ 2.4 × 12.7	1
⑦	化粧ナット 	No.8-32 UNC φ 9.4 × 22.2	1

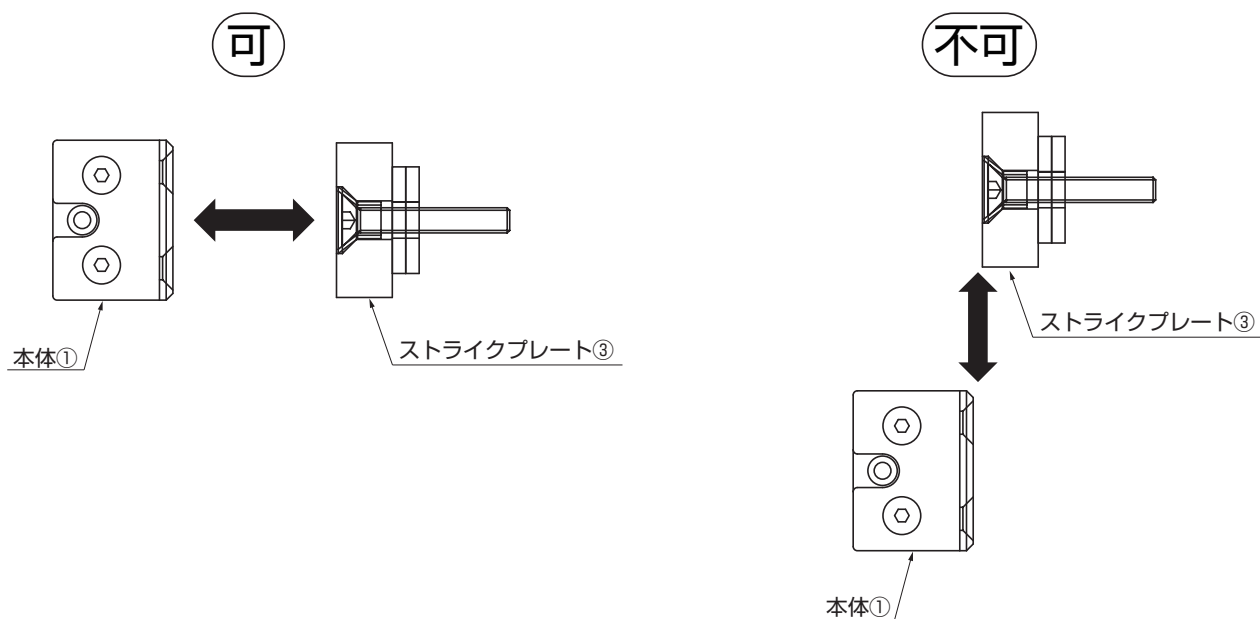
	名称	寸法	数量
⑧	十字穴付皿 タッピンねじ 	ST4.8 × 19	3
⑨	六角穴付ボルト 	No.8-32 UNC × 19	4
⑩	十字穴付なべ タッピンねじ 	3.5 × 25.4	4
⑪	六角レンチ 	5/64 インチ	1
⑫	六角レンチ 	9/64 インチ	1
⑬	テンプレート (紙製・英文) 	A4	1

## 取付場所の条件

- ・ 取付場所はマグナロックの吸着力以上の強度を持っていること。
- ・ 配線は外部からの破壊行為を防げる場所に設置するよう考慮すること。
- ・ 扉閉時、吸着時には本体①、ストライクプレート③がお互い真正面で向き合う位置であること。

引戸のほか開き戸にも取り付けられますが、いずれも本体①とストライクプレート③はお互いが正面から近づく離れるという位置関係にしてください。お互いが横方向から近づく離れるという位置関係では機能しません。

### <本体①とストライクプレート③の位置関係>



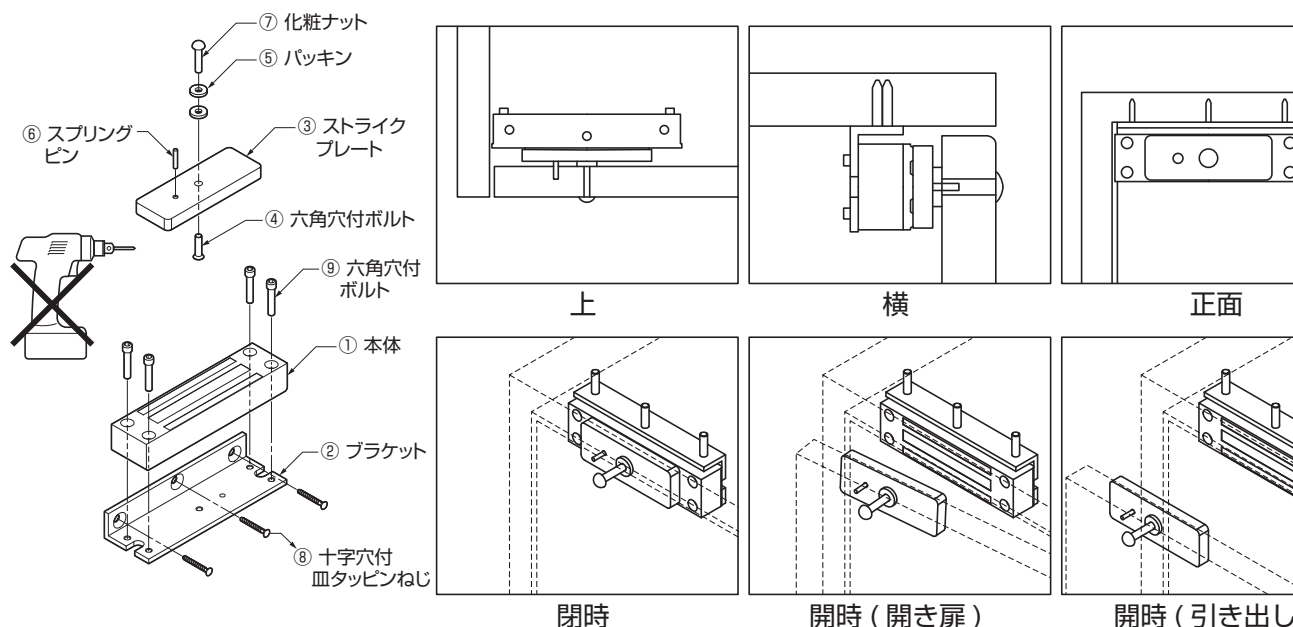
扉に直接ストライクプレート③を取り付ける場合、扉厚は22mm～25mmまでです。それ以外の厚さの場合は部品を切り詰めるか、部品が組み立てられるよう取付部を追加加工する必要があります。

施錠解錠の際は金属同士の接触音がでます。

## 1 本体①をブラケット②を介して箱側に取り付け、ストライクプレート③を扉に直接取り付ける例

天板下面（側板内面）と扉内面が隣接する角部など、本体①およびストライクプレート③を取り付ける箇所を決め、電線の経路も決めておいてください。

本体①、ストライクプレート③がお互い真正面で向き合う位置になるようにしてください。



### 【1】ストライクプレート③の取り付け

- (1) テンプレート⑬を当て、取付位置、穴位置を決め目印をつけてください。
- (2) 扉のストライクプレート③の中央にあたる位置にφ5.2の穴を貫通させてください。
- (3) 扉のストライクプレート面に、スプリングピン⑥用のφ3.2×深さ8の穴を開けます。貫通させないよう注意してください。
- (4) ストライクプレート③にスプリングピン⑥を根元までしっかり打ち込んでください。
- (5) (2) で開けた穴にストライクプレート側の反対側から化粧ナット⑦を挿入してください。
- (6) パッキン⑤2枚とストライクプレート③を扉面に当てます。(3) で開けた穴にスプリングピン⑥が入るよう向きを整えてください。
- (7) 六角穴付ボルト④で化粧ナット⑦とともに挟むようにして組み立てます。この際、ねじロック（ゆるみ止め）を施し六角レンチ⑪でストライクプレート③が適度に首振る程度に締め付けてください。

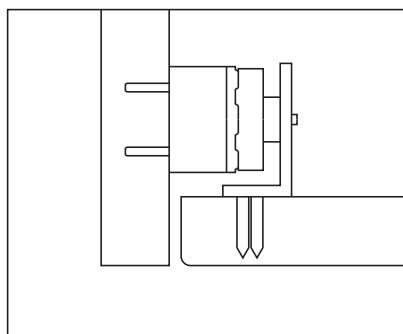
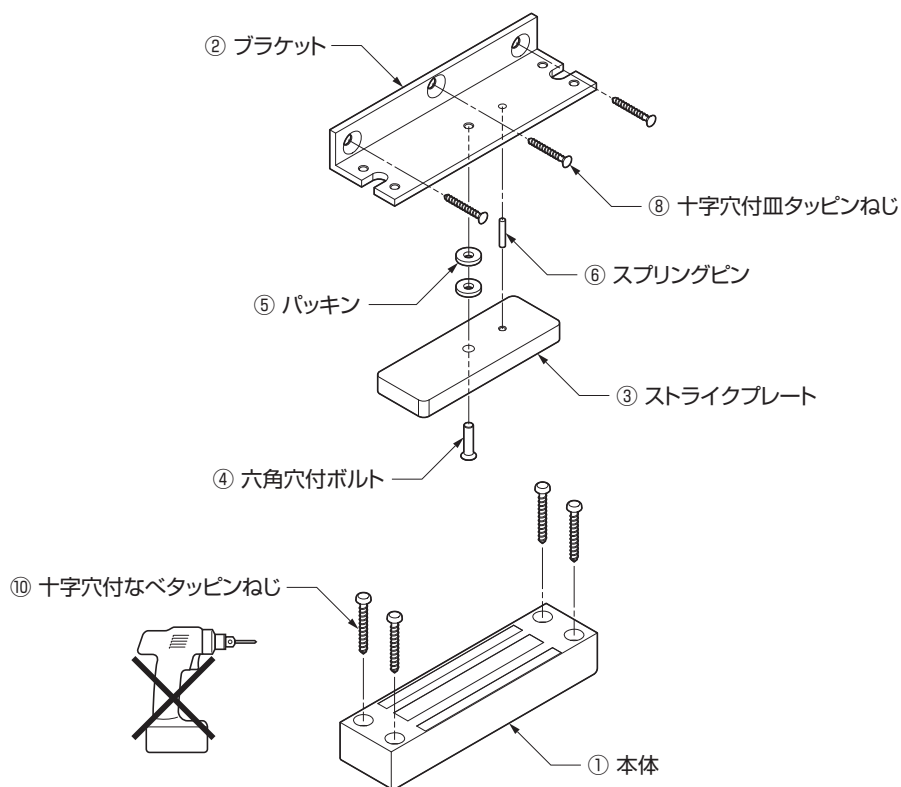
### 【2】本体①の取り付け

- (1) テンプレート⑬を当て、取付位置 穴位置を決め目印をつけてください。
- (2) 電線の経路を穴加工などして作ってください。
- (3) ブラケット取付面3ヶ所にφ3.2×深さ12.7mmの穴を開けてください。
- (4) ブラケット②を十字穴付皿タッピンねじ⑧でしっかり取り付けてください。
- (5) 本体の電線を経路に這わせ、本体①をブラケット②に六角穴付ボルト⑨で固定します。ねじは六角レンチ⑫で締め付けてください。
- (6) 電線を接続機器の位置まで通してください（付属の電線は1.8m）。届かずに継ぎ足す場合は0.3sq以上の電線を用いてください。
- (7) 本体①、ストライクプレート③がお互い真正面で向き合っていることを確認してください。

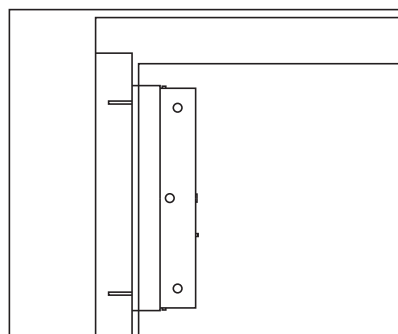
## 2 ③本体①を直接箱側に取り付け、ストライクプレート③をブラケット②を介して扉に取り付ける例

天板下面（側板内面）と扉内面が隣接する角部など、本体①およびストライクプレート③を取り付ける箇所を決めます。  
電線の経路を決めておいてください。

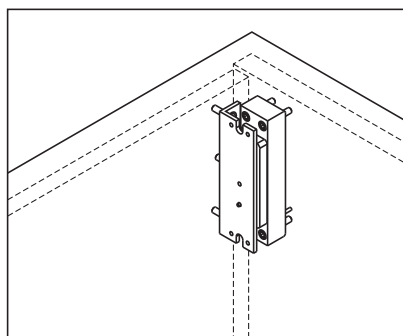
本体①、ストライクプレート③がお互い真正面でも向き合う位置になるよう注意してください。



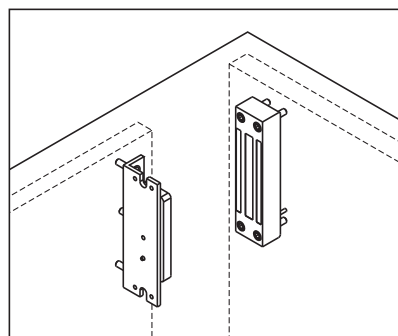
上



正面



閉時（内側から見る）



開時（内側から見る）

## 【1】 ストライクプレート③の取り付け

- (1) テンプレート⑬を当て、取付位置、穴位置を決め目印をつけてください。
- (2) ブラケット取付面3ヶ所に $\phi 3.2 \times$ 深さ12.7mmの穴を開けてください。
- (3) ブラケット②を十字穴付皿タッピンねじ⑧でしっかり取り付けてください。
- (4) ストライクプレート③にスプリングピン⑥を打つ。根元までしっかり打ち込んでください。
- (5) ストライクプレート③をブラケット②に取り付け、スプリングピン⑥との穴位置を合わせてください。
- (6) パッキン⑤2枚とストライクプレート③を扉面に当ててください。
- (7) 六角穴付ボルト④でストライクプレート③、パッキン⑤とも挟むようにして組み立てます。この際、ねじロック（ゆるみ止め）を施し六角レンチ⑪でストライクプレート③が適度に首振る程度に締め付けてください。

## 【2】 本体①の取り付け

- (1) テンプレート⑬を当て、取付位置、穴位置を決め目印をつけてください。
- (2) 電線の経路を穴加工などして作ってください。
- (3) 本体取付面のテンプレート⑬で決めた位置4ヶ所に $\phi 2.4 \times$ 深さ13mmの下穴を開けてください。
- (4) 取付面に電線を通すための $\phi 5.2$ の穴を開けてください。
- (5) 先に電線を取付面の穴に通し取付面にたるみが出ないよう穴の向こうへ引き、本体を取付面に十字穴付なベタッピンねじ⑩で固定してください。引っ張り荷重が掛かる場所ですので、しっかり締め付けてください。
- (6) 電線を接続機器の位置まで通してください（付属の電線は1.8m）。届かずに継ぎ足す場合は0.3sq以上の電線を用いてください。
- (7) 本体①、ストライクプレート③がお互い真正面向き合っていることを確認してください。

### 電気仕様

この製品の入力電圧は、DC24Vで -5%~+25%の範囲でご使用になれます。

赤の線は+24Vを受け、黒の線は0V (マイナス) です。

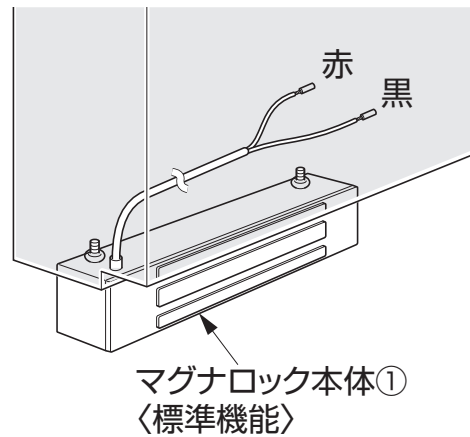
マグナロックの電源スイッチは、プラス側に設置してください。

#### ⚠ 注意

- ・電源は消費電力の2倍以上の容量のものを使用してください。
- ・逆の極性に接続すると機能しません。間違えないように確実に接続してください。

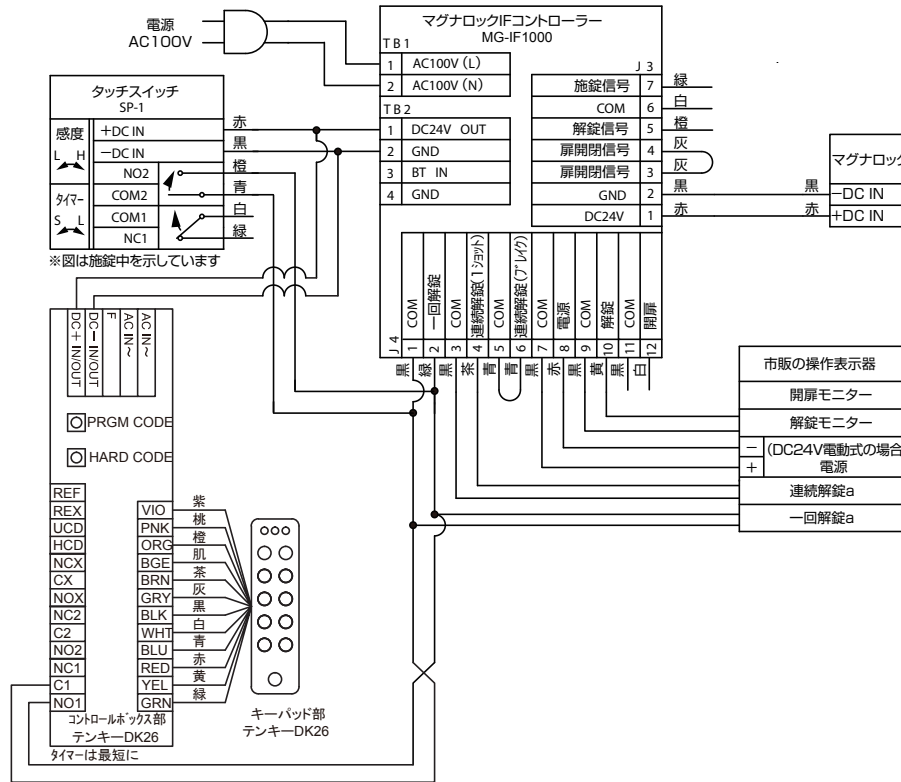
#### 〈標準機能〉

赤 / 電源 DC24V +  
黒 / 0V (マイナス)



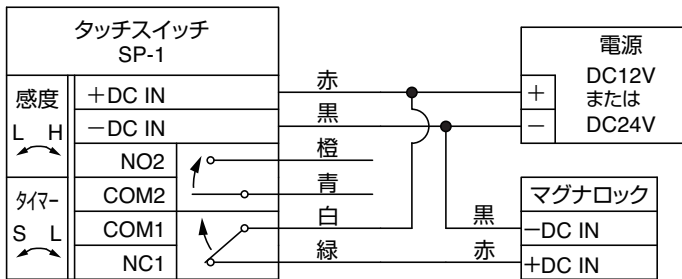
## タッチスイッチ SP-1 (別売) との結線例

### 〈マグナロックをIFコントローラー MG-IF-1000 (別売) で制御する例〉

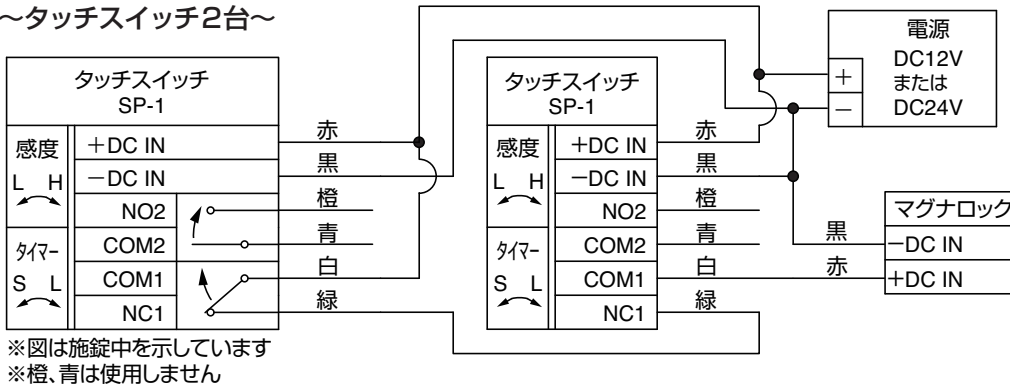


### 〈マグナロックをタッチスイッチ SP-1 (別売) で直接制御する例〉

～タッチスイッチ1台～

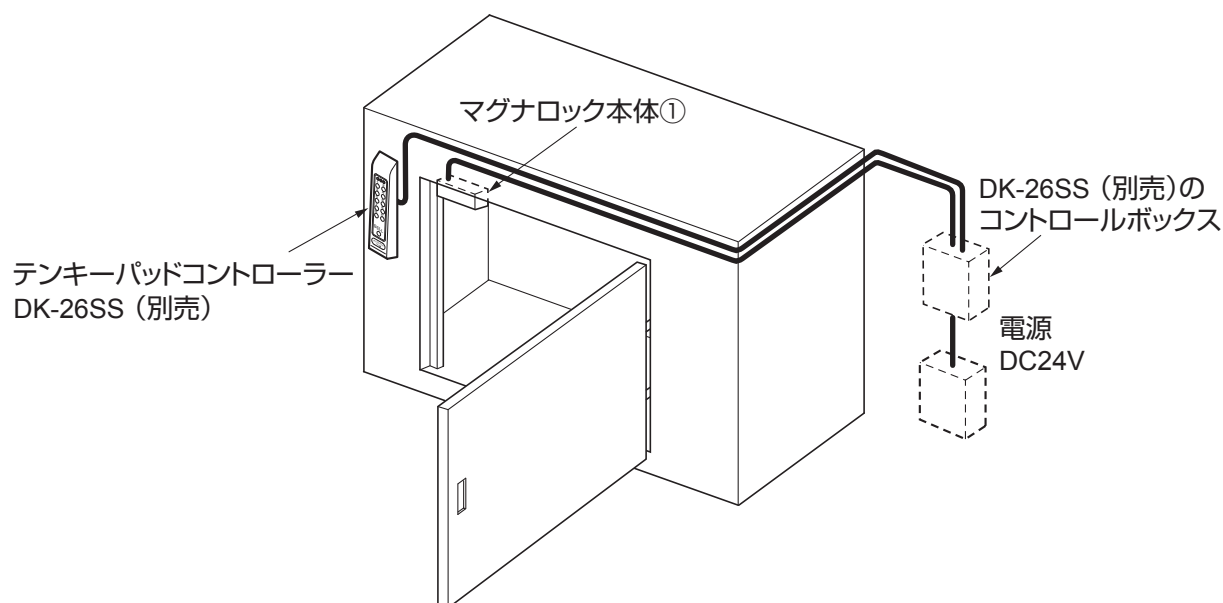


～タッチスイッチ2台～



## テンキーパッドコントローラー DK-26SS (別売) との結線例

<弊社の推奨電気錠システム>



### 緊急解除

緊急時に手動、または火災報知システムにより解除できるようにマグナロックを配線する必要があります。  
弊社では扉の解除を確実にこなうために、電源を遮断することをお勧めします (P.7.結線図参照)。

本製品に関するご質問・ご相談は、  
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

**SUGATSUNE** **スガツネ工業**  
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL:03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30  
E-mail: support@sugatsune.co.jp

2024.02 0612-9j